

## 政策評価調書(23年度実績)

政策名	情報通信基盤の整備とIT化の推進	政策コード	Ⅲ-5	関係部局名	商工労働部、総務部、企画振興部、農林水産部
-----	------------------	-------	-----	-------	-----------------------

### 【Ⅰ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	今後の方向性
1	情報通信基盤の整備促進	達成	現状維持
2	県民生活の情報化推進	概ね達成	拡充

### 【Ⅳ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

「ユビキタス社会」の到来により、情報通信基盤の整備は、県民生活全般の利便性の向上だけでなく、企業活動や商業の振興等の施策を下支えするためにも必要不可欠となっている。そのため、県単独事業や国の補助事業の積極的な活用により、ブロードバンドサービスや携帯電話エリアの拡大、地域ケーブルテレビ網の整備促進に取り組み、情報通信基盤整備を推進してきたところである。

今後は、超高速ブロードバンドなどさらに高速な情報通信基盤の整備を推進するとともに、「情報コミュニティセンター」の運営やセミナーを開催し、県民の情報活用能力の向上を図る必要がある。

また、携帯電話やスマート端末など多様な情報機器の普及により、様々な方法で情報が取得できるなど通信環境も整ってきたことから、「県民安全・安心メール」など県民が必要とする情報の提供に取り組むとともに、情報セキュリティ対策や個人情報の保護に努める。

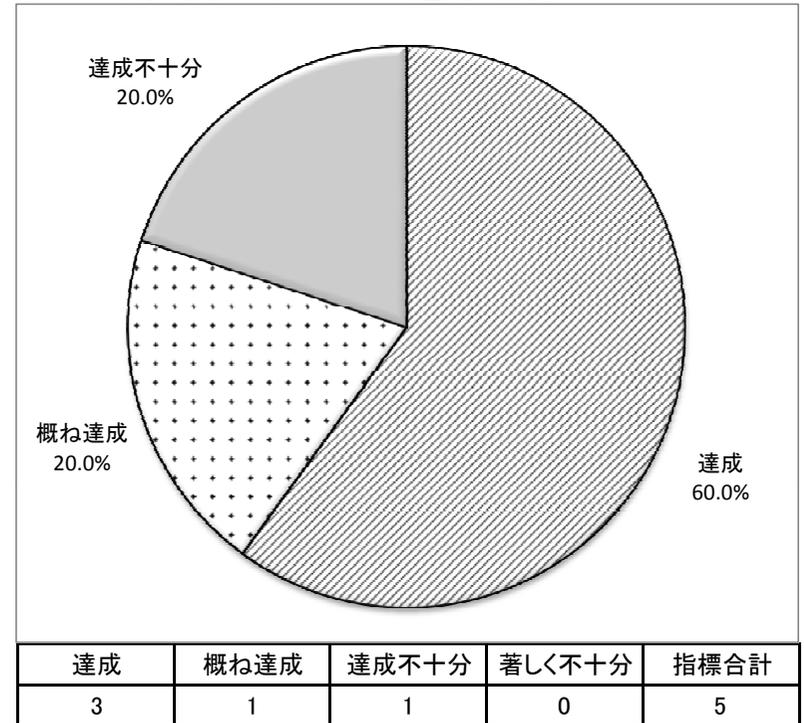
(参考)情報通信基盤の推移

単位: %

区 分	H19	H20	H21	H22	H23
ブロードバンド世帯普及率	42.0	44.4	46.7	49.5	53.7
ケーブルテレビ世帯普及率	52.8	53.2	56.3	59.4	65.1

出展: 総務省九州総合通信局資料

### 【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



### 【Ⅲ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	-

※ 1. ユビキタス社会:  
「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」ネットワークに簡単につながる社会。

2. 情報コミュニティセンター:  
県がソフトパーク(大分市東春日町)内に開設したもので、高速インターネットを実際に体験したり、NPOや各種パソコンサークルの研修会・発表会などに利用することができる。